

2020年9月30日  
Holoeyes 株式会社  
株式会社NTTドコモ

## Holoeyes とドコモが医療分野における業務提携に合意 ～XR ソリューションで医療現場改革を推進～

Holoeyes 株式会社(以下、Holoeyes)と株式会社 NTT ドコモ(以下、ドコモ)は、2020年9月30日(水)に医療分野における業務提携に合意いたしました。

本業務提携に基づき、両社は、Holoeyes 社が提供する医療用画像 3D 空間表示サービス「Holoeyes MD<sup>®</sup>」と、ドコモが販売するウェアラブルタイプの XR<sup>※1</sup> デバイス「Magic Leap 1<sup>™</sup>」を医療機関向けに Holoeyes 販売パートナーを介して一元的に提供します。

「Holoeyes MD」と「Magic Leap 1」を組み合わせることで、医療従事者は人体の CT・MRI 検査などで得られた 3D データを立体空間で確認し、直感的に理解することが可能となります。



＜Magic Leap 1 を用いて Holoeyes MD を利用しているイメージ＞

両社は、本業務提携を通じて医師同士・医師と患者・メディカルスタッフ・医学生間のコミュニケーション活性化や医療情報格差、地域医療格差といった課題の解決をめざします。また今後も、XR 技術や 5G 技術などを活用することにより、医療業界における課題解決に向け、高度な医療サービスの提供を推進してまいります。

なお、Holoeyes は 2020 年 9 月 15 日(火)に最終選考会が開催されたドコモの 5G ソリューション創出コンテスト「docomo 5G DX AWARDS 2020<sup>™</sup>」の優秀賞受賞企業<sup>※2</sup>です。

※1 「XR」とは、VR(仮想現実)、AR(拡張現実)、MR(複合現実)といった先端技術の総称です。

※2 「docomo 5G DX AWARDS 2020」の詳細は、以下 URL をご参照ください。

[https://www.nttdocomo.co.jp/binary/pdf/info/news\\_release/topics\\_200915\\_00.pdf](https://www.nttdocomo.co.jp/binary/pdf/info/news_release/topics_200915_00.pdf)

\* 「Magic Leap 1」、Magic Leap のロゴおよびその他のすべての商標は、Magic Leap, Inc.の商標です。

\* 「Holoeyes MD」、Holoeyes のロゴおよびその他のすべての商標は、Holoeyes 株式会社の商標です。

\* 「docomo 5G DX AWARDS 2020」は、株式会社 NTT ドコモの商標です。

### 報道機関からのお問い合わせ先

Holoeyes株式会社  
広報 新城・中村  
TEL:050-1744-9255 MAIL:info@holoeyes.jp

株式会社NTTドコモ  
法人ビジネス本部 5G・IoT ビジネス部  
TEL:03-5156-2845

## 両社の医療分野における業務提携の概要

### 1. 概要

両社の業務提携により、医療機関がより高度な医療サービスを提供できるよう支援し、医療業界・医療機関におけるさまざまな課題の解決をめざします。

- (1) SDGs の目標の一つである「すべての人に健康と福祉を」の達成に貢献するべく、医療業界・医療機関の課題解決につながる ICT 化の推進。
- (2) 「Holoeyes MD (アプリケーション)」と「Magic Leap 1 (端末)」を医療機関へ提供することによる、医療従事者のコミュニケーション活性化および医療情報の格差や地域医療格差といった課題の解決。
- (3) Holoeyes の持つ XR 技術とドコモの持つ情報通信技術 (5G やドコモオープンイノベーションクラウド<sup>※1</sup>) を活用し、さらなる医療機関向けのサービス・お客さま満足の上につながるソリューションの開発の推進。
- (4) その他、両社のアセットを活用した新規事業創出の検討。

### 2. 各社の役割

- ・Holoeyes : 「Holoeyes MD」の提供のほか、パートナーを介した販売、XR アプリ開発。
- ・ドコモ : 「Magic Leap 1」のパートナーへの販売およびサービス向上を見据えた ICT (5G やドコモオープンイノベーションクラウドなど) 環境の提供。

### 3. 医療機関さまからのご購入に関するお問い合わせ窓口

「Holoeyes MD」と「Magic Leap 1」を組み合わせたソリューションは Holoeyes 販売パートナー (代理店) よりご購入いただけます。販売パートナーは以下の通りです (2020 年 9 月 30 日時点)。

#### ■北海道エリア

- ・株式会社モロオ (<https://www.moroo.co.jp/>)

#### ■東北/北関東/東海/北陸エリア

- ・青森県・岩手県: 共立医科器械株式会社 (<https://kmic.co.jp/>)
- ・宮城県・山形県: 株式会社シバタインテック (<https://www.shibataintech.co.jp/>)
- ・福島県: サンセイ医機株式会社 ([https://www.kawanishi-md.co.jp/group\\_hd/group/sansei/](https://www.kawanishi-md.co.jp/group_hd/group/sansei/))
- ・新潟県: ジェイメディカル株式会社 (<http://www.jeimedical.com/>)
- ・秋田県/北関東/東海/北陸: メディアスグループ各社 (<https://www.medius.co.jp/groups/>)<sup>※2</sup>

#### ■近畿エリア

- ・株式会社三笑堂 (<http://www.sanshodoh.co.jp/>)

#### ■中国/四国エリア

- ・株式会社カワニシ ([https://www.kawanishi-md.co.jp/group\\_hd/group/kawanishi/index.php](https://www.kawanishi-md.co.jp/group_hd/group/kawanishi/index.php))

#### ■九州/沖縄エリア

- ・アイティーアイ株式会社 (<https://www.iti-e.co.jp/>)

※1 「ドコモオープンイノベーションクラウド」は、5G 時代に求められる低遅延、高セキュリティなど MEC (Multi-access Edge Computing) の特長を持つクラウドサービスです。(各種条件により遅延時間は変動するため、ネットワークの伝送遅延が必ず一定以下になるといった保証をするものではありません。)

※2 取扱エリアは、秋田県、群馬県、栃木県、茨木県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県、山梨県、石川県、富山県、福井県となります。

\* 「ドコモオープンイノベーションクラウド」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

## 各社の概要

### ■Holoeyes 株式会社

所在地 : 東京都港区南青山 2-17-3 モーリンビル 303  
設立 : 2016 年 10 月  
代表者 : 谷口直嗣  
資本金 : 1 億円(2020 年 9 月 1 日現在)  
事業内容 : 医療用画像処理ソフトウェアの開発・販売

### ■株式会社 NTT ドコモ

所在地 : 東京都千代田区永田町 2 丁目 11 番 1 号 山王パークタワー  
営業開始 : 1992 年 7 月 1 日  
代表者 : 代表取締役社長 吉澤 和弘  
資本金 : 949,679 百万円(2020 年 3 月 31 日現在)  
事業内容 : 通信事業・スマートライフ事業・その他の事業